

令和4年度 事業計画書

公益財団法人富士市文化振興財団

1 事業の実施にあたって

富士市文化振興財団は、設立以来、30年間にわたり、富士市文化会館ロゼシアターを活動拠点として、様々な自主事業を展開するとともに、会館の管理運営に取り組んできました。

実施した自主事業は、約1,200事業を数え、令和4年1月末までの会館利用者も、累計で1,200万人を超えるなど、地域住民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の発展に貢献してきました。

令和4年度は、当財団が富士市より5年間の第4期指定管理者に選定されて4年目となります。今後とも、利用者に満足していただける会館の管理運営と事業を展開していきます。

施設運営については、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底しながら、利用環境の整備と安定したサービスの提供に努めます。

施設の経年劣化による老朽化対策は、長期的視点で見据え、利用者が安全に安心して利用できるよう、市と協議しながら計画的な施設保全を図るとともに、老朽化が顕著なものから危険度を重視し優先順位をつけ、修繕や更新を行います。

また、災害対策については、緊急時における対応力と防災意識の向上を高めるため、消防訓練の実施や防火管理講習等の受講など、職員の防災意識の啓発に努めます。

自主事業についても、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底しながら、アウトリーチ事業の拡充や地元アーティストへの活動機会の提供、SNSを効果的に活用した情報発信をするなど、積極的な自主事業の展開を図っていきます。同時に、開館30周年を迎える令和5年度に向けて、大型記念事業の計画も進めていきます。

また、市からの受託事業として、富士市総合文化祭における団体へのアドバイスや富士市展の補助、紙のアートミュージアム等の各事業について、協力体制をとっていきます。

財団は、今後も市民が利用しやすい会館運営に努めるとともに、市民が様々な文化芸術に触れ、楽しめるような環境づくりを行い、これまで培った経験と実績を活かして、文化芸術事業等の振興に尽力していきます。

2 管理運営事業

(1) 施設運営

施設の適正な管理と利用者サービスの一層の向上を図るため、積極的かつ柔軟な貸館事業の展開を推進し、催物の円滑な実現と文化会館の利用促進に努めます。

近年、少子高齢化等の社会背景を踏まえ、若年層をターゲットとした大規模催事を積極的に招致してきました。今後は、年齢層の拡大を図り、世代を超えたお客様に足を運んでいただけるような催事の開催に尽力していきます。

また、多様な利用ニーズに的確に対応するための専門的知識を備えられるよう、職員のスキル向上とキャリア形成を進めます。

新型コロナウイルス感染症対策については、職員および関係スタッフの健康状態の把握、飛沫感染防止対策や社会的距離の確保を徹底します。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら、利用者には利用内容に応じた感染対策のアドバイスや事前打ち合わせを綿密に行い、利用者の安全を第一に、市と連絡調整を密にしながら必要な取り組みを行います。

(2) 施設保全

長期的視点で老朽化対策を見据え、点検、診断によって得られた施設の状態を把握し、市と協議しながら計画的な施設保全を図ります。

施設の維持と安全性の確保については、適切な予防保全を行うことにより、突発的な不具合による利用停止等の防止を図ります。

設備・備品については、舞台設備の保守整備、ホール座席の計画的修繕、消耗部品の交換、不具合箇所の修繕など、細部にわたるメンテナンスを行います。

(3) 災害対策

災害や緊急時における対応力と防災意識の向上を高めるため、以下の取り組みを推進し、職員の防災意識の啓発に努めます。

- ・ 消防訓練の計画的実施（年2回）
- ・ 防火管理講習等の受講機会の拡充
- ・ 危機管理マニュアルの整備

3 自主事業

(1) 自主事業計画方針

平成25年度に富士市が策定した『富士市文化振興基本計画』の計画期間は、令和3年度末に終了予定ですが、「文化に親しむ機会の充実と発表の場の提供」「文化情報の提供と発信」「文化の交流と連携」「文化を担う人材の育成・支援」「文化に親しむ子どもたちの育成」など基本となる方向性は踏襲しつつ、現在進められている次期計画に沿った文化施策を構築していきます。また時代の流れに沿った事業計画の策定を検討したうえで、富士市をはじめこの地域に根差した文化の創造、鑑賞機会の提供に努めます。

令和3年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスの猛威にさらされ、多くの公演が客席数の縮小や中止・延期に追い込まれました。そのような中、いくつかの公演を実施しましたが、感染症対策を徹底した結果、感染者の報告やクラスターの発生なども起こっていないことから、令和4年度も、今まで以上に感染症対策に気を配り、ウィズコロナの事業展開を図ります。

同様に、会館に足を運ぶことが難しい方々が気軽に文化芸術に親しめるように実施するアウトリーチ事業に関しても、病院・福祉施設・幼稚園等での「おでかけクラシック」、市内まちづくりセンター等での「コミュニティコンサート」、小学校でクラス単位等の小規模で開催する「おでかけ芸術教室」など、感染症対策を徹底し可能な範囲で積極的に実施を検討します。

なお、上記3事業への出演は、富士市内及び近隣市町で活躍するアーティストの起用を予定し、演奏家の活躍する機会の提供も併せて行います。

広報事業においては、時代の波に乗り遅れることなく、インターネットを効果的に使い、集客・宣伝に繋げていけるよう力を注ぎます。また、市民ミュージカルや地元演奏家のコンサートなどの動画配信を計画的に行い、ロゼシアターの事業を紹介していきます。

まもなく開館から30年、これまでに培った経験を生かし、魅力ある自主事業を展開するとともに、開館30周年を迎える令和5年度に向け、周年ならではの事業計画を進め、今後の富士市の文化の発展に努めます。

(2) 自主事業の概要

自主事業は、事業の目的ごとに「普及事業」「育成事業」「創作事業」「交流事業」「鑑賞事業」「広報事業」「共催事業」に分かれており、令和4年度も各事業に応じたプログラムを計画的に実施していきます。

普及事業では、クラシック音楽の普及と優れた芸術文化に触れる機会を提供することを目的とした、ふじ少年少女芸術劇場「小・中学生招待コンサート」や「小学校学校コンサート」等を行います。

育成事業では、未就学児でも入場可能な「ロゼこどもスプリングコンサート」や「ロゼこどもコンサート」、地元出身の演奏家による「新人音楽家による演奏会」などに加え、地域で吹奏楽に親しむ中高生を対象とした「シエナ・ウインド・オーケストラ アンサンブル・ワークショップ」を開催します。また、同楽団とは、様々な形で連携し事業展開していくことを計画しています。展示部門では、21回目となる「新進アーティスト作品展」を開催します。

創作事業では、平成10年より継続して開催している市民ミュージカルを行います。また、令和5年度に実施予定の開館30周年記念市民ミュージカルの準備も併せて進めていきます。

交流事業では、地元文化団体の協力のもと、館内施設を活用した「スタンプラリー」や「トレインフェスタ」、アウトリーチ事業として「おでかけ芸術教室」「おでかけクラシック」「コミュニティ・コンサート」などを実施します。

鑑賞事業では、幅広い世代が様々な文化芸術を楽しんでいただけるよう音楽から演劇・ミュージカル等、多彩なジャンルの公演を行います。音楽公演では、世代を問わず人気のあるディズニーの名曲を映像とともに楽しむ「ディズニー・ワールド・ビート」、「佐渡裕指揮 シエナ・ウインド・オーケストラ」。根強い人気のある落語公演。アンケートでのリクエストも多い「劇団四季ミュージカル」や19回目の開催となる「ロゼフォークプラザ」を実施します。

共催事業では、実行委員会形式で実施する「ロゼピアノコンクール」をサポートし、演奏者の育成を支援します。

広報事業では、多彩な芸術文化情報を広く市民に提供するため、「文化情報誌ロゼ」や静岡県東部地区を主対象に総合チラシの新聞折込を行う「ロゼナビ」を発行するほか、動画配信にも力をいれ、自主事業の周知に努めます。

令和4年度も、幅広く市民のニーズに応えるよう多種多様な自主事業を展開していきます。

4 受託事業

富士市より、下記の事業に関する運営補助業務を受託します。

令和4年度からは、新たに「富士市総合文化祭」の運営に関する業務が加わります。「富士市総合文化祭」は、今期からホール部門の開催時期を従来の秋から春へ変更しての実施となります。新型コロナウイルスの影響により、過去2年間中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となりますが、事業が円滑に進むよう協力します。

No.	事業名	期間
1	「ふじ・紙のアートミュージアム」 施設管理業務、監視スタッフ手配業務	通年
2	「富士市展」運営補助、監視スタッフ手配業務	R4. 4～8
3	「富士市総合文化祭」運営補助業務	通年